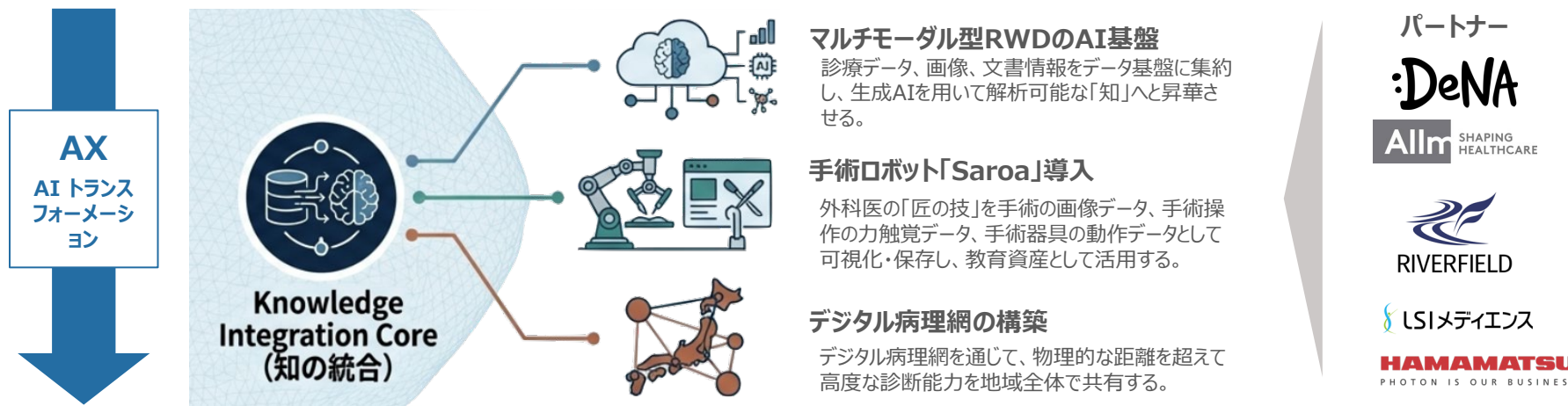
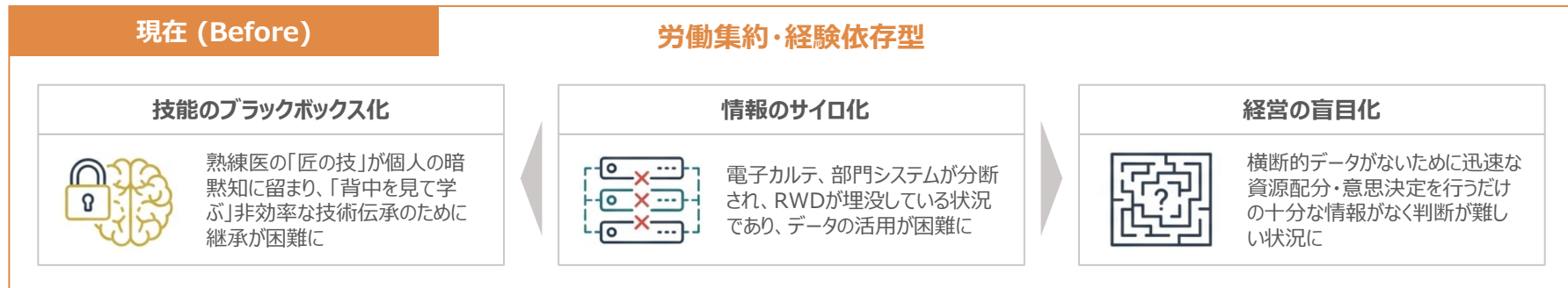


# マルチモーダルAIと暗黙知の形式知化による大学病院の『知の循環』型構造転換と教育研究基盤の強化

データの「統合」と技能の「形式知化」による、教育・研究・診療が循環する未来型大学病院モデル

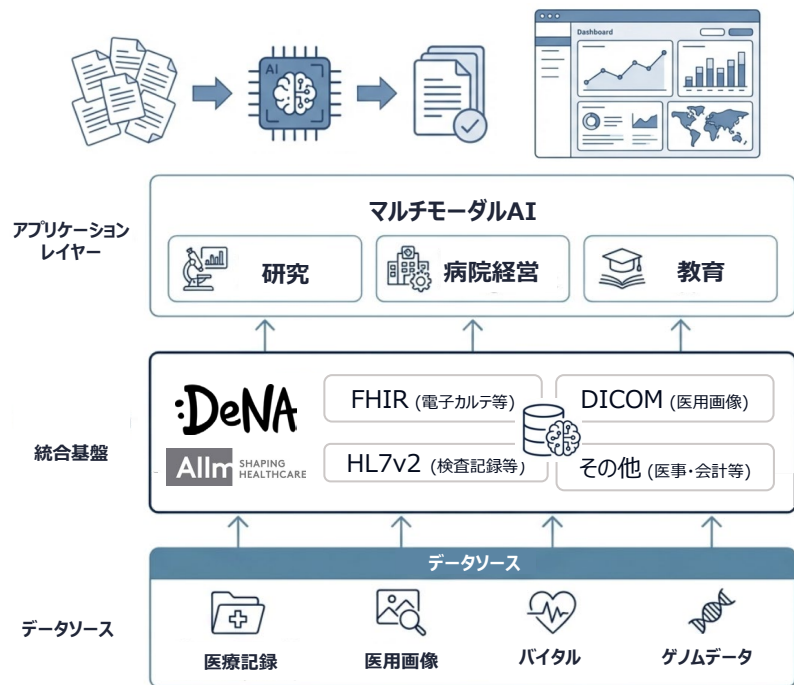


# 事業を構成する3つの柱と具体的施策

「情報・技能・地域」の統合により、高度な研究教育環境とデータドリブンな病院経営を同時に実現

## 情報の統合

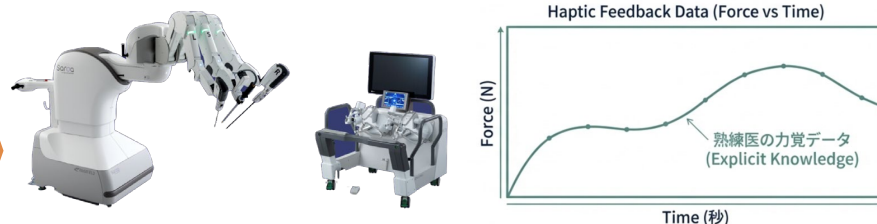
### マルチモーダル型RWDのAI基盤構築



- HL7v2 / FHIR / DICOM 等のあらゆる情報を統合したマルチモーダルなデータを扱うことが可能な AI 基盤の構築
- 研究や教育の現場において生成AI (Gemini等) の実装と活用
- 即時性のある分析結果を利用して経営へ活用

## 技能の統合

### 手術ロボット「Sarao」導入 (暗黙知のデジタル化・可視化)



Sarao  
surgical system

RIVERFIELD

- 熟練医の手技・力覚触覚データをログとして蓄積
- 若手医師への技能教育期間を大幅短縮(教育DX)
- 国産ロボット活用による医工連携研究の推進

## 地域の統合

### デジタル病理診断網の構築 (WSIによる遠隔診断ネットワーク)



- 物理的移動を最小化した迅速な病理診断支援
- 地域全体の医療品質均てん化
- 希少症例データの集約とAI学習リソース化

LSIメディエンス  
HAMAMATSU  
PHOTON IS OUR BUSINESS

# 全学的な推進体制と事業の持続可能性（サステナビリティ）

強力なガバナンスと産学連携により、補助期間終了後も自走・発展するエコシステムの構築を実現

## 推進体制（ガバナンス）



## プロジェクト推進本部

病院長直轄の組織として設置し、以下の3つのワーキンググループ（WG）を統括する。定期的なステアリングコミティを開催し、KPIのモニタリングと課題解決を行う

### データ基盤・AI活用WG

リーダー：臨床研究データセンター長 山野主任教授

- IT戦略推進室と連携
- RWD基盤構築
- AI導入・セキュリティ管理
- 研究者支援

### 外科教育・先端医療WG

リーダー：消化器外科 民上主任教授

- 手術支援ロボ「Sarao」導入
- 力触覚データ教育活用
- 医工連携研究の推進

### 地域病理ネットワークWG

リーダー：病理診断科 小池主任教授

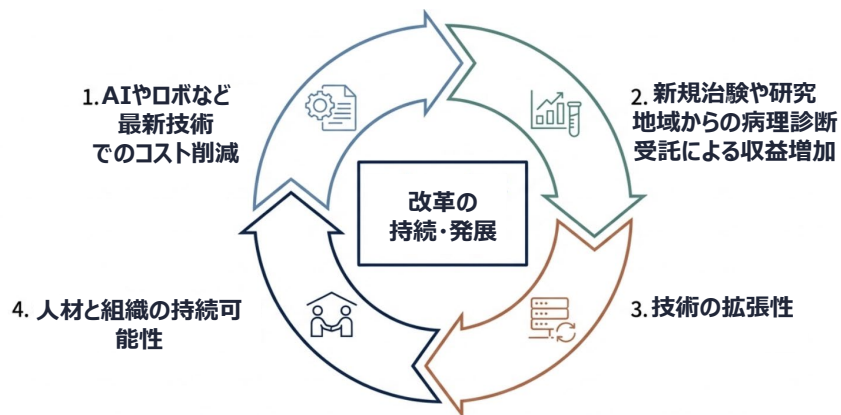
- 遠隔病理診断の実施
- 関連病院連携フロー構築
- AI診断支援モデルの開発

## 事務局・支援体制

学長室、財務課、IT戦略推進室、病院管理課、Total Quality Management室、臨床研究データセンターから専任担当を配置

- 予算・進捗管理
- 関係部署および行政対応
- パートナー企業との連携・調整
- ITセキュリティ委員会と連携し、個人情報保護法や次世代医療基盤法に準拠したデータガバナンスを徹底

## 持続可能性のエコシステム



技術面だけでなく事業の発展性・持続可能性高いモデル

## これまでの実績



### マリアンナアプリ

14,000人登録。国内有数のPHR基盤。



### TriNetX

国際治験ネットワークへの接続完了。



### Generative AI (Gemini)

全学公式採用・ガイドライン策定済み。



### 神奈川県内4大学病院協議体

県と連携した地域医療構想の推進。